

エクメット[®]配合錠

を服用される方とそのご家族へ

本冊子には、エクメット配合錠服用時の注意点がまとめられています。
服用前に、本冊子を必ずお読みください。



監修：関西電力病院 総長 **清野 裕** 先生

2020年12月にRMPの承認条件が解除となりました

エクメット配合錠とは

ディービーフォー

エクメット配合錠は、DPP-4阻害薬ビルダグリプチンとビッグアナイド薬メトホルミンの2つの成分が合わさった配合剤です。このお薬は、ビルダグリプチンの血糖低下作用とメトホルミンの血糖低下作用を1錠で同時に得ることができる糖尿病治療薬です。

エクメット配合錠LD



(表)



(裏)

エクメット配合錠HD



(表)



(裏)

(薬剤写真は、実際の大きさは異なります)

飲み方

1回1錠(LDまたはHD) 1日2回(朝と夕)

飲むタイミングは、食事の前か後どちらでも構いません。

もし飲み忘れたら…

気づいたときに1回分を服用してください。ただし、次に服用するまでの時間が近い場合は、次の服用時間に1回分を服用し、**2回分を一度に服用しないでください。**

服用にあたって

- **腎臓や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことのある人は、医師に申し出てください。**
- エクメット配合錠を飲んでいる時は、**定期的に腎機能や肝機能の検査**が行われます。腎臓の病気のある人、高齢の人では、検査の回数が増えることがあります。
- **「便秘」、「下痢」、「吐き気」、「めまい」、「ふらつき」、「空腹**」などの症状があらわれることがあります。
- **「持続的な激しい腹痛」、「嘔吐**」などの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には服用をやめて、すぐに医師の診察を受けてください。

「**乳酸アシドーシス**」、「**消化器症状**」、「**低血糖**」などの副作用や、乳酸アシドーシスのリスクとなる「**シックデイ**」については、特に注意が必要です。詳しくご紹介いたします。

ほかにも気になる症状がありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

乳酸アシドーシスについて

血中の乳酸が増加した結果、血液が酸性になった状態が「乳酸アシドーシス」です。乳酸アシドーシスは、進行すると意識を失うことや死に至ることもあるため、未然に防ぐことが重要です。

乳酸アシドーシスは、なぜ起こる？

- 水分不足
- 発熱、下痢、嘔吐
- シックデイ (p.4参照)
- お酒の飲み過ぎ
- 食事が摂れない

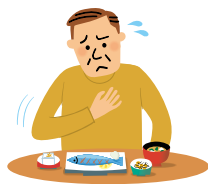
など

このような症状にご注意

乳酸アシドーシスの進行

- 意識障害
- 倦怠感
- 食欲不振
- 筋肉痛
- 吐き気・嘔吐
- 腹痛

など



- 過呼吸
- クスマウル呼吸
(異常に深くて大きい呼吸
が規則正しく続く状態)

など



- けいれん
- ショック状態

など



どのような対策が必要？

● 適度な水分摂取をこころがける

脱水状態になると、乳酸アシドーシスが起これやすくなるので、適度に水分を摂取しましょう



● お酒を飲み過ぎない

過度のアルコール摂取時には、乳酸アシドーシスが起これやすくなるので、お酒を飲み過ぎないようにしましょう
(アルコール摂取量は、個人差がありますので医師とご相談ください)



● シックデイには、 エクメット配合錠の服用をいったんやめる

脱水による乳酸アシドーシスが起これやすくなるので、エクメット配合錠を服用するのをいったんやめ、医師に相談しましょう



● 気になる症状があらわれたら、 すぐに医師に相談する

早めに気づいて対処することで、重い乳酸アシドーシス症状を避けることができますので、すぐに医師に相談しましょう



⚠ 医療機関受診時のお願い

医療機関受診時に、「新しい別のお薬をもらう」、「血管・尿路造影検査やCT検査などのヨード造影剤を用いた検査を受ける」、「手術を受ける」場合には、エクメット配合錠を服用していることをお伝えください。



シックデイについて

糖尿病のある人が治療中に発熱、下痢、嘔吐や、食欲不振となることを「シックデイ」と呼び、血糖マネジメントが著しく困難な状態となることがあります。シックデイでは、脱水による乳酸アシドーシスが起こりやすくなるので、注意が必要です。

どのような対策が必要？

● シックデイには、エクメット配合錠の服用をいったんやめる

- ・脱水による乳酸アシドーシスが起こりやすくなるので、エクメット配合錠を服用するのをいったんやめ、医師に相談しましょう

● 脱水を避ける

- ・十分な水分を摂取しましょう



● 低血糖を避ける

- ・消化吸収のよい、おかゆやクラッカー、ジュース、アイスクリームなどを摂取し、絶食はしないようにしましょう



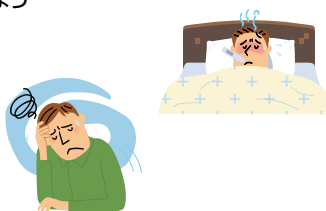
● 高血糖を避ける

- ・血糖値をこまめに測定しましょう
- ・エクメット配合錠以外のお薬の服用については医師に相談しましょう



● 病院への連絡・受診のタイミングを見逃さない

- ・以下のようなときは医師に相談しましょう
 - 下痢、嘔吐が続くとき
 - 食事、水分が摂取できないとき
 - 高熱が2日以上続くとき
 - 著しい高血糖や低血糖が続くとき
 - 意識レベルが低下したとき



消化器症状について

エクメット配合錠に含まれる成分のメトホルミンにより、以下のような「消化器症状」がみられることがあります。これらの症状は乳酸アシドーシスの初期症状である可能性もあるので、注意が必要です。

このような症状にご注意

- 食欲不振
- 下痢
- 吐き気・嘔吐
- 消化不良
- 便秘
- 腹痛
- 胸焼け など



どのような対策が必要？

- 上記のような症状があらわれたら、**エクメット配合錠の服用をいったんやめる**

下痢、嘔吐などにより、脱水状態になる可能性があるため、十分な水分を摂取するとともに、エクメット配合錠の服用をいったんやめ、医師に相談しましょう



- 気になる症状があらわれたら、**すぐに医師に相談する**

早めに気づいて対処することで、重い症状への移行を避けることができますので、すぐに医師に相談しましょう



低血糖について

血糖値が低くなりすぎた状態が「低血糖」です。低血糖は、進行すると意識を失うこともあるため、気づいたら早めに対策をとることが重要です。

低血糖は、なぜ起こる？

- お薬の種類・量の間違い
- 長時間の運動
- 食事の遅れ・量の不足
- お酒の飲み過ぎ など

このような症状にご注意

低血糖の進行

・強い空腹感 ・脱力感 ・冷や汗
・顔が青白い ・手足のふるえ
・動悸 ・気分が悪い など

・頭痛 ・眠気 ・強い疲労感 ・めまい
・言葉が出ない ・動作がぎこちない
・物が見えにくい など

・意識を失う ・けいれん ・昏睡状態 など



どのような対策が必要？

● 症状に気づいたら、まずは糖분을補給する

- ・早めに対処して、重い低血糖症状を避けるようにしましょう
 - 糖분을摂取しても症状がおさまらない場合は、早めに医師に相談しましょう
 - α -グルコシダーゼ阻害薬服用中は、必ずブドウ糖を補給しましょう

● 高い所での作業や自動車運転時には注意する

- ・低血糖を起こすと重大な事故につながるがあるので、注意しましょう



本冊子に記載されている内容以外にも、
気になる点や不明な点がありましたら、
すぐに医師または薬剤師に相談してください。



医療機関名

ノバルティス ファーマ株式会社

住友ファーマ株式会社